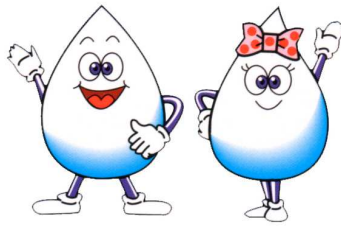


平成28年度決算の概要



平成29年12月
阪神水道企業団

目 次

I. 概況	1
II. 業務の実績	2
III. 収支の状況	5
IV. 対財政計画・予算比較	12
V. 対前年度決算比較	14
VI. 貸借対照表	16

I. 概況

◆総括

- 「安全な水の安定供給の持続」という基本理念のもと、効率的な事業運営を行うとともに、施設の適切な維持管理に基づき経年劣化した管路や施設、設備機器の更新、改修及び取替を実施し、安全で良質な水の安定供給に努めました。
- 財政面においては、多額の累積欠損金を有する状況が続いていますが、構成市の費用負担の軽減（分賦金の削減）を図りつつ、保有地の活用による収益確保や支払利息等の経費削減策を継続的に実施し、収支改善に努めました。その結果、当年度は、収益的収支において純利益を計上することとなりました。

◆水源・水質、給水実績

- 琵琶湖流域の降雨量は、1,851mmで前年比107%となり、琵琶湖水位の平均値は-16cm（最高値8cm、最低値-46cm）で、過去10年間の前年値並（平均値-15cm）でした。
- 水質状況については、9月に琵琶湖南湖でかび臭原因物質（ジェオスミン）が最大294ng/L（水質基準値は10ng/L以下）を記録したものの、浄水場の着水原水においては低い濃度で推移し、浄水への影響はありませんでした。また、1月には、取水場へ油が流入する水源水質事故が発生しましたが、浄水への影響はありませんでした。
- 年間実績給水量は272,555,300 m³となり、1日最大給水量は819,630 m³、最大稼働率は72.7%となりました。

◆収支の状況

- 収益的収支は1,350,000千円の純利益となり、前年度に比べて、1,107,353千円減少しました。特別利益の減等により収入は1,372,279千円減少し、特別損失等が増加したものの、割賦負担金利息及び動力費の減等により支出も264,926千円減少しました。この結果、当年度末の累積欠損金は、14,148,027千円となりました。
- 資本的収支不足額は、10,477,082千円となり、前年度に比べて1,481,740千円増加しました。出資金等の収入は91,598千円減少し、出資金返還金等の支出は1,390,142千円増加しました。
- 資本的収支不足額については、損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度では1,410,856千円の資金減となり、当年度末の資金残額は6,571,907千円となりました。

Ⅱ. 業務の実績

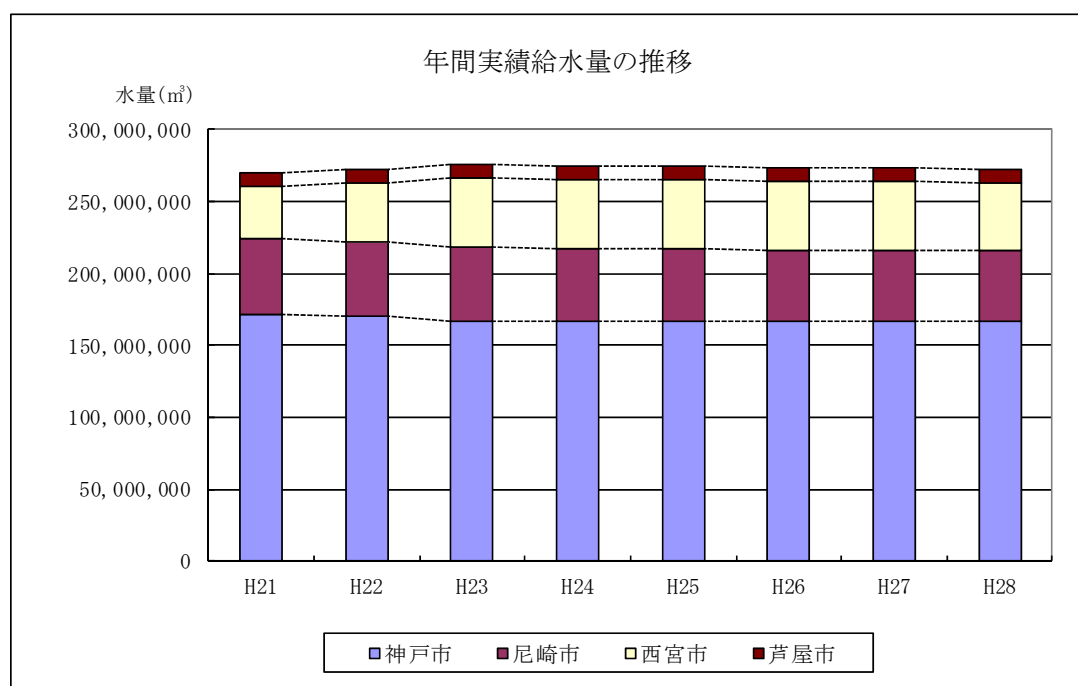
◆ 計画給水量と実績給水量

- 実績給水量は 272,555,300 m³で、前年度と比べて 498,140 m³減少しました。
- 計画給水量（分賦基本水量）288,204,730 m³に対する実績率は 94.6%で、前年度に比べて 0.1 ポイント増加しました。

○ 年間実績給水量の推移

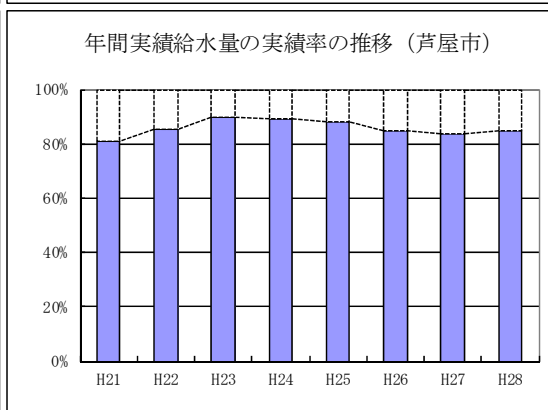
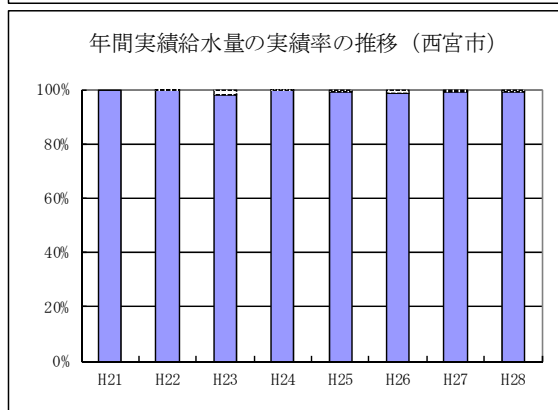
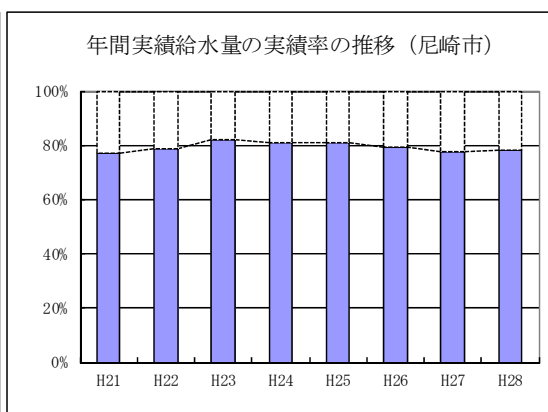
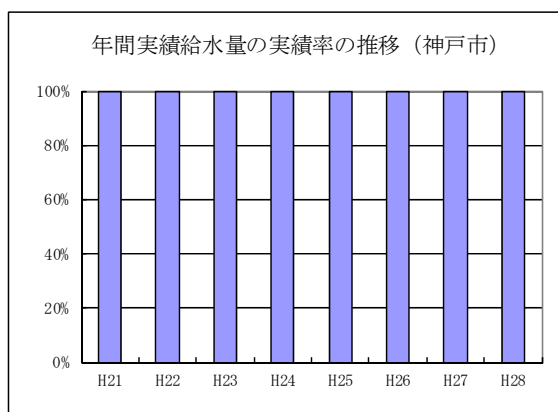
(単位 m³)

	神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	計	
H28分賦基本水量	166,938,955	62,246,005	48,162,845	10,856,925	288,204,730	
年間実績給水量	H21	171,793,380	52,252,600	36,353,170	9,878,820	270,277,970
	H22	170,260,370	52,020,800	40,128,050	10,041,700	272,450,920
	H23	167,396,260	51,215,700	47,491,790	9,803,090	275,906,840
	H24	166,938,900	50,242,800	48,074,310	9,688,010	274,944,020
	H25	166,938,910	50,373,900	47,877,420	9,551,000	274,741,230
	H26	166,938,870	49,353,200	47,478,870	9,219,310	272,990,250
	H27	167,396,280	48,597,800	47,968,220	9,091,140	273,053,440
	H28	166,938,900	48,719,700	47,709,300	9,187,400	272,555,300



○ 年間実績給水量の実績率（対計画給水量）の推移

	神戸市	尼崎市	西宮市	芦屋市	全体
H21	100.0%	77.0%	100.0%	80.7%	93.8%
H22	100.0%	78.8%	99.9%	85.3%	94.5%
H23	100.0%	82.1%	98.3%	90.0%	95.5%
H24	100.0%	80.7%	99.8%	89.2%	95.4%
H25	100.0%	80.9%	99.4%	88.0%	95.3%
H26	100.0%	79.3%	98.6%	84.9%	94.7%
H27	100.0%	77.9%	99.3%	83.5%	94.5%
H28	100.0%	78.3%	99.1%	84.6%	94.6%

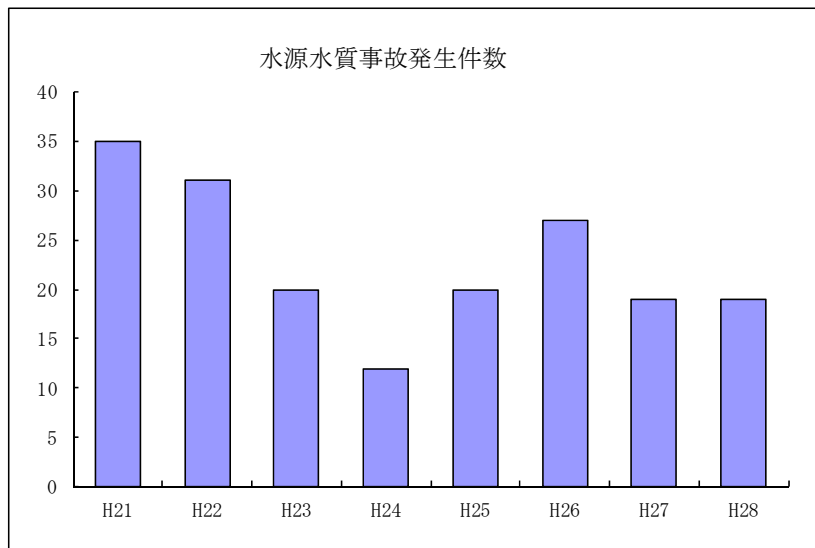


◆水源水質の状況（事故の発生状況）

- 淀川水質協議会を通じて把握した淀川水系における水源水質事故の発生件数は 19 件でした。そのうち、16 件が油事故で、うち 1 件は企業団の取水場で発見されましたが、粉末活性炭の投入や適切なオゾン、粒状活性炭処理の運用等によって対応し、浄水への影響はありませんでした。

○淀川水系における水源水質事故発生件数の推移

年度	発生件数
H21	35
H22	31
H23	20
H24	12
H25	20
H26	27
H27	19
H28	19



Ⅲ. 収支の状況

◆収益的収入の状況

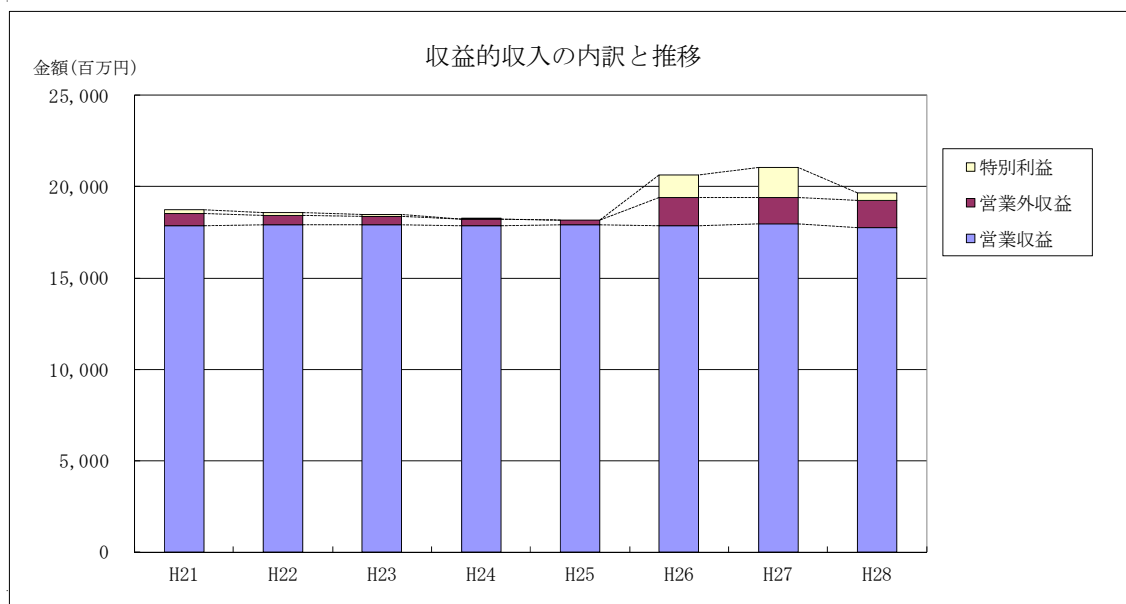
- 収益的収入は19,669,473千円で、前年度に比べて1,372,279千円減少しました。
- 前年度に比べて、特別利益で宝塚市新規加入負担金408,000千円は同額でしたが、保有地の売却及び丹生ダム建設事業割賦負担金一括償還に係る繰出金により1,209,151千円減少しました。また、営業収益では、分賦金負担軽減に係る給水量の減量措置等により172,337千円減少しました。

[財政計画比+13,799千円、予算比+20,296千円（収益的収入税抜額）]

○収益的収入の内訳と推移（税抜）

(単位 千円)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
1. 水道事業収益	18,723,275	18,582,025	18,467,918	18,214,348	18,162,215	20,631,793	21,041,752	19,669,473
1. 営業収益	17,864,552	17,888,203	17,924,053	17,866,201	17,887,927	17,866,797	17,937,289	17,764,952
1. 分賦金	17,857,165	17,857,165	17,906,089	17,857,165	17,857,165	17,857,165	17,906,089	17,757,160
2. 受託工事収益	4,520	27,323	9,185	0	21,743	0	21,626	0
3. その他営業収益	2,867	3,715	8,779	9,036	9,019	9,632	9,574	7,792
2. 営業外収益	656,070	558,780	457,180	348,102	274,288	1,519,350	1,485,335	1,494,544
1. 受取利息	9,949	4,429	3,404	6,060	4,894	7,206	6,149	2,673
2. 補助金	489,809	395,822	298,276	193,822	120,862	97,382	80,118	64,821
3. 長期前受金戻入	0	0	0	0	0	1,266,935	1,250,658	1,277,570
4. 雑収益	156,312	158,529	155,500	148,220	148,532	147,827	148,410	149,480
3. 特別利益	202,653	135,042	86,685	45	0	1,245,646	1,619,128	409,977



◆収益的支出の状況

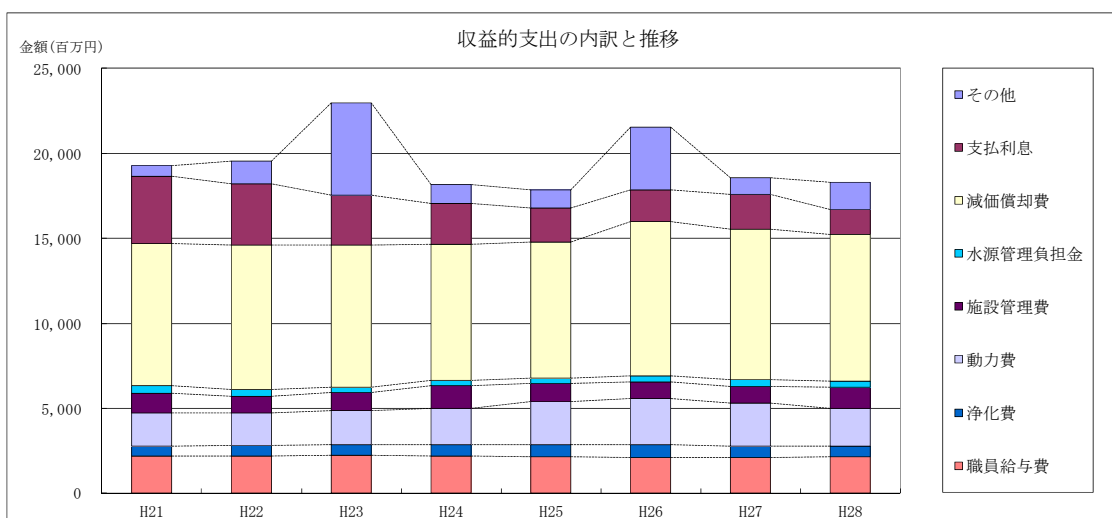
- 収益的支出は18,319,473千円で、前年度に比べて264,926千円減少しました。
- 前年度に比べて、主に宝塚市新規加入負担金返還金(特別損失)及び施設管理費が1,065,759千円増加したものの、割賦負担金利息、動力費、減価償却費、企業債利息及び資産減耗費が1,289,191千円減少しました。

[財政計画比△1,304,150千円、予算比△589,653千円(収益的支出税抜額)]

○収益的支出の内訳と推移(税抜)

(単位 千円)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
1. 水道事業費用	19,291,612	19,557,403	22,970,748	18,160,993	17,867,731	21,565,147	18,584,399	18,319,473
1. 営業費用	15,323,984	15,332,756	15,241,573	15,735,082	15,589,468	16,826,762	16,509,417	16,022,838
1. 職員給与費	2,200,643	2,205,398	2,219,575	2,191,860	2,164,227	2,111,953	2,086,824	2,152,685
2. 浄化費	589,920	597,727	640,804	681,897	681,620	730,153	670,095	630,158
3. 動力費	1,934,356	1,924,372	2,021,068	2,135,120	2,563,611	2,721,953	2,543,762	2,197,581
4. 施設管理費	1,149,204	981,303	1,044,630	1,317,134	1,055,835	1,003,017	998,060	1,247,819
5. 委託費	211,931	289,293	278,989	0	0	0	0	0
6. 受託工事費	4,520	27,323	9,185	0	21,743	0	21,626	0
7. 物件費	87,760	87,341	89,131	250,962	84,864	84,199	84,528	87,023
8. 諸費	175,210	208,286	197,737	700,510	666,625	671,214	650,869	634,033
9. 水源管理負担金	476,735	412,512	322,462	311,085	320,766	332,648	369,703	353,121
10. 減価償却費	8,344,558	8,496,105	8,347,568	8,013,261	7,986,523	9,102,705	8,860,622	8,627,756
11. 資産減耗費	149,147	103,096	70,422	133,253	43,654	68,920	223,328	92,662
2. 営業外費用	3,967,628	3,617,656	2,950,558	2,425,911	2,031,614	1,843,250	2,074,982	1,480,635
1. 企業債利息	2,970,405	2,844,527	2,337,195	2,008,379	1,726,849	1,600,302	1,482,698	1,350,973
2. 割賦負担金利息	995,953	770,131	611,806	414,171	290,486	236,945	571,733	123,980
3. 雑支出	1,270	2,998	1,557	3,361	14,279	6,003	20,551	5,682
3. 特別損失	0	606,991	4,778,617	0	246,649	2,895,135	0	816,000



◆給水原価の状況

- 給水原価は56.62円/m³で、前年度に比べて3.28円/m³減少しました。施設管理費等が増加したものの、支払利息、動力費等が減少しました。
- 企業債や害賦負担金の繰上償還の効果等により、支払利息は年々減少しています。

※給水原価(円/m³) = (営業費用+営業外費用-受託工事費-不用品売却原価) / 分賦基本水量

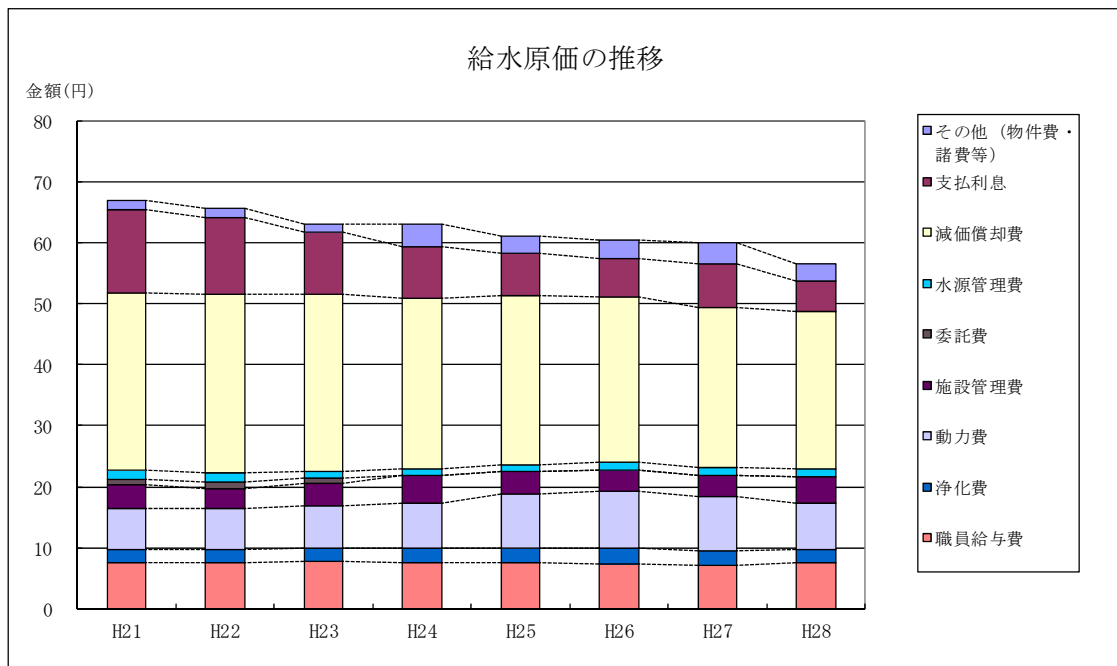
※平成26年度以降の減価償却費は、長期前受金戻入見合いの減価償却費を除く。

※平成28年度の方賦基本水量は、分賦金負担軽減に係る給水量の減量措置後の数値

○給水原価の構成と推移

(単位 円/m³)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
職員給与費	7.64	7.63	7.68	7.61	7.51	7.33	7.22	7.51
浄化費	2.05	2.07	2.22	2.37	2.37	2.53	2.32	2.20
動力費	6.71	6.66	6.99	7.41	8.90	9.44	8.80	7.67
施設管理費	3.99	3.40	3.61	4.57	3.66	3.48	3.45	4.35
委託費	0.74	1.00	0.97	—	—	—	—	—
水源管理費	1.65	1.43	1.12	1.08	1.11	1.15	1.28	1.23
減価償却費	28.95	29.40	28.88	27.80	27.71	27.19	26.37	25.68
支払利息	13.76	12.51	10.20	8.41	7.00	6.37	7.11	5.15
その他(物件費・諸費等)	1.43	1.56	1.25	3.76	2.81	2.89	3.35	2.83
給水原価	66.92	65.66	62.92	63.01	61.07	60.38	59.90	56.62



◆純損益と累積損益の状況

- 第5期拡張事業で整備した施設の稼働に伴う減価償却費や支払利息の増加により、これまで多額の累積欠損金を有する状況が続いていますが、繰上償還等の経営改善施策の効果もあり、平成23年度をピークに徐々に改善しつつあります。
- 当年度決算については、1,350,000千円の純利益を計上した結果、当年度末における累積欠損金は、14,148,027千円に減少しました。

[財政計画比+1,317,949千円、予算比+609,949千円（当年度純損益）]

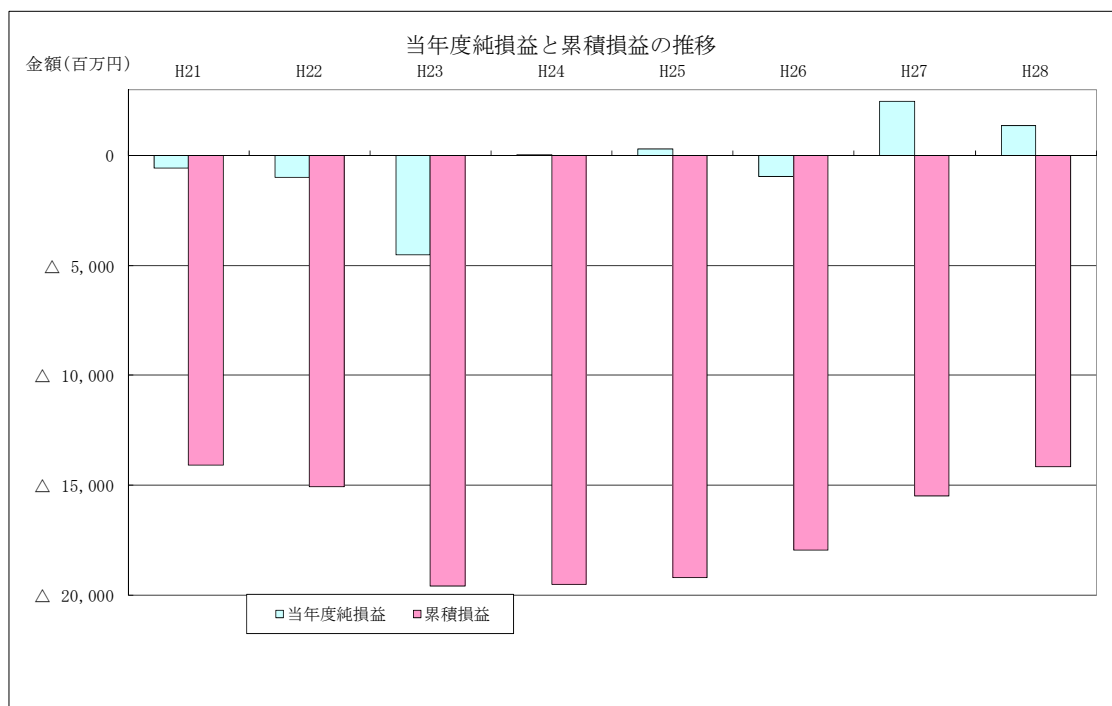
○当年度純損益と累積損益の推移

(単位 千円)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
当年度純損益	△ 568,337	△ 975,378	△ 4,502,830	53,355	294,484	※1 △ 933,354	2,457,353	1,350,000
累積損益	△ 14,097,699	△ 15,073,077	△ 19,575,907	△ 19,522,552	△ 19,228,068	※2 △ 17,955,380	△ 15,498,027	△ 14,148,027

※1 会計制度見直し前の基準では純利益

※2 その他未処分利益剰余金変動額2,206,042千円による補てん後の金額



◆資本的収支と資金収支の状況

- 資本的収入は1,235,086千円で、出資金、企業債の減等により、前年度に比べて91,598千円減少しました。
- 資本的支出は11,712,168千円で、主に企業債償還金が292,274千円減少したものの、出資金返還金及び建設改良費が1,699,219千円増加したことなどにより、前年度に比べて1,390,142千円増加しました。
- 資本的収支不足額は10,477,082千円となりましたが、これを損益勘定留保資金等で補てんした結果、単年度では1,410,856千円の資金減となり、当年度末の資金残額は6,571,907千円となりました。

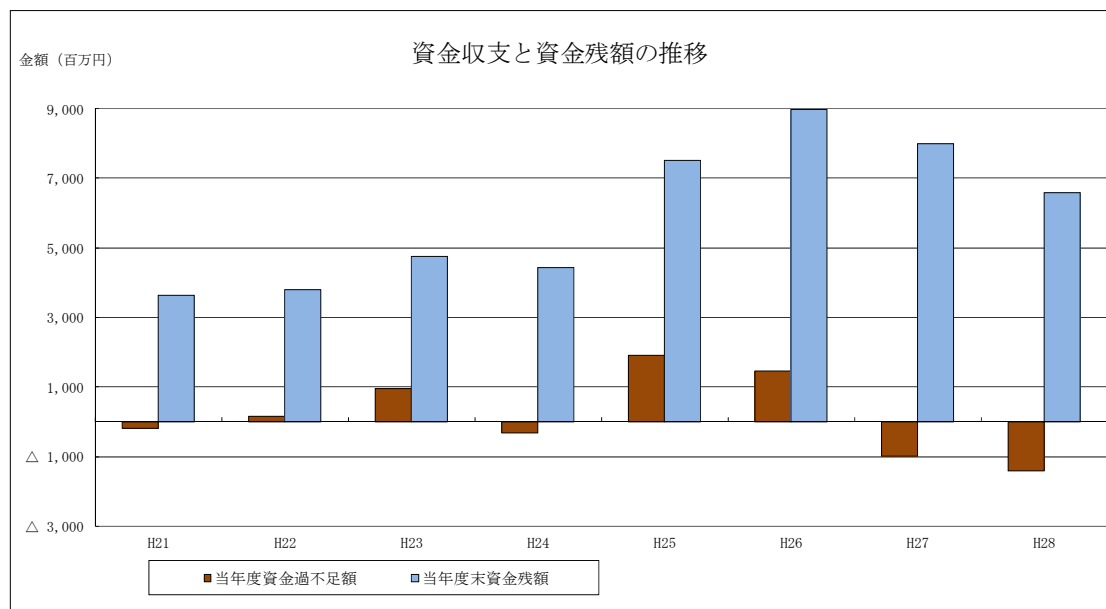
[財政計画比+3,386,183千円、予算比+1,734,809千円（当年度末資金残額）]

○資金収支と資金残額の推移

(単位 千円)

	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
前年度末資金残額	3,812,279	3,636,193	3,802,300	4,762,020	※ 5,606,917	7,513,072	8,964,081	7,982,763
当年度資金過不足額	△ 176,086	166,107	959,720	△ 331,890	1,906,155	1,451,009	△ 981,318	△ 1,410,856
当年度末資金残額	3,636,193	3,802,300	4,762,020	4,430,130	7,513,072	8,964,081	7,982,763	6,571,907

※引当金1,176,787千円を含む。



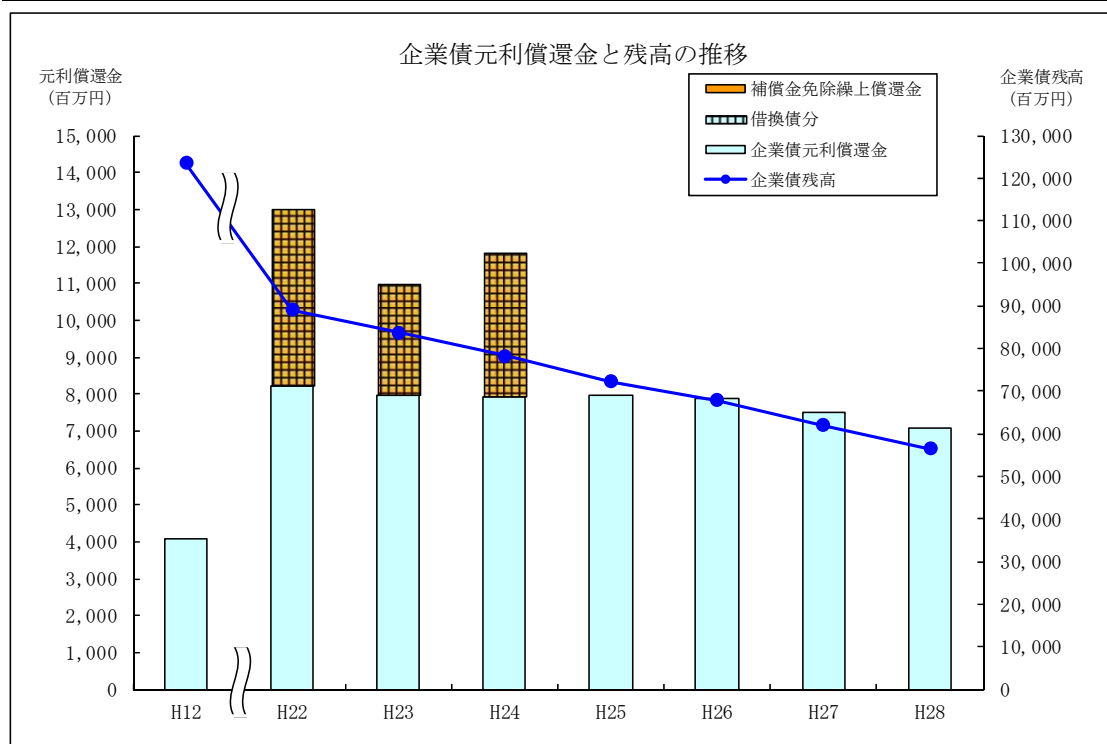
◆企業債の状況（償還額・残高の推移）

- 企業債元利償還金は7,061,977千円で、前年度に比べて423,997千円減少しました。
- 当年度末の企業債残高は56,482,055千円で、前年度に比べて5,511,003千円減少し、ピーク時（平成12年度）の約46%の水準まで低下しました。

○企業債元利償還金と残高の推移

（単位 百万円）

	H12	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
企業債元利償還金	4,085	13,034	11,001	11,849	7,950	7,869	7,486	7,062
年度末残高	123,535	89,045	83,755	78,344	72,314	67,772	61,993	56,482
企業債残高／給水収益（%）	775.5	498.7	467.7	438.7	405.0	379.5	346.2	318.1



(注) 元利償還金には、公的資金補償金免除繰上償還（H19：2,545百万円、H20：1,622百万円、H22：4,812百万円、H23：3,022百万円、H24：3,920百万円）を含む。
 なお、財源として借換債（H22：4,804百万円、H23：3,018百万円、H24：3,913百万円）を発行した。

◆割賦負担金の状況（償還額・残高の推移）

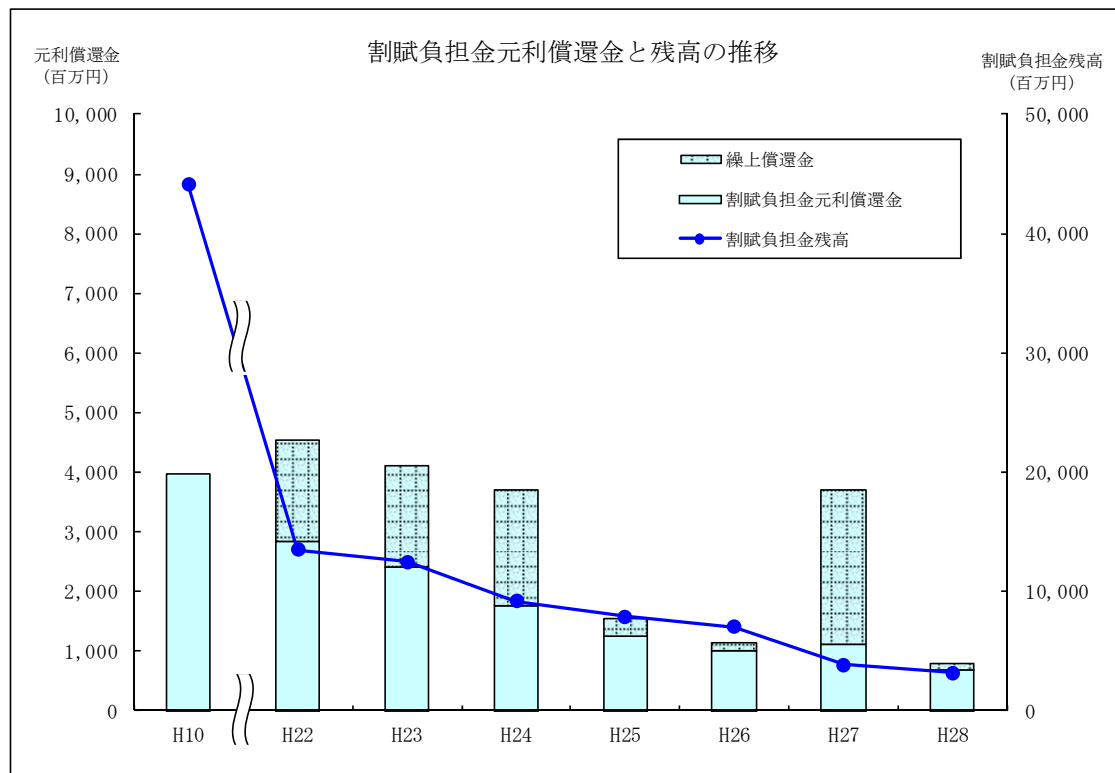
- 割賦負担元利償還金は805,004千円で、前年度に比べて2,906,411千円減少しました。
- 日吉ダム建設事業割賦負担金の繰上償還を行い将来の支払利息の削減を図りました。
- 当年度末の割賦負担金残高は3,210,378千円で、前年度に比べて681,025千円減少し、ピーク時（平成10年度）の約7%の水準まで低下しました。

○割賦負担金元利償還金と残高の推移

（単位 百万円）

	H10	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
割賦負担元利償還金	3,964	4,536	4,107	3,704	1,538	1,149	3,711	805
琵琶湖開発事業	3,324	3,854	3,373	2,932	766	375	0	0
日吉ダム建設事業	640	682	682	719	719	721	839	805
丹生ダム建設事業			52	53	53	53	※2,872	0
年度末残高（税込み）	44,082	13,526	12,481	9,191	7,943	7,031	3,891	3,210
琵琶湖開発事業	34,400	6,911	3,869	1,085	364	0	0	0
日吉ダム建設事業	9,682	6,615	6,162	5,656	5,129	4,581	3,891	3,210
丹生ダム建設事業			2,450	2,450	2,450	2,450	0	0

※ 丹生ダム建設事業割賦負担金の一括償還分



（注）割賦負担元利償還金には、琵琶湖開発事業割賦負担金繰上償還金（H19：618百万円、H20：1,684百万円、H21：1,813百万円、H22：1,684百万円、H23：1,684百万円、H24：1,932百万円、H25：286百万円、H26：126百万円）、日吉ダム建設事業割賦負担金繰上償還金（H27：131百万円、H28：124百万円）、丹生ダム建設事業割賦負担金繰上償還金（H27：2,450百万円）を含む。

IV. 対財政計画・予算比較

収益的收入及び支出（税抜き）

（単位 千円）

収支区分	年度	H28			
	財政計画 ①	予算額 (前年度繰越+補 正・流用含む) ②	決算額 ③	決算-財計 ③-①	決算-予算 ③-②
1. 水道事業収益	19,655,674	19,649,177	19,669,473	13,799	20,296
1. 営業収益	17,771,383	17,764,886	17,764,952	△ 6,431	66
1. 分賦金	17,757,158	17,757,158	17,757,160	2	2
2. 受託工事収益	6,497	0	0	△ 6,497	0
3. その他営業収益	7,728	7,728	7,792	64	64
2. 営業外収益	1,476,290	1,476,290	1,494,544	18,254	18,254
1. 受取利息	3,573	3,573	2,673	△ 900	△ 900
2. 補助金	65,515	65,515	64,821	△ 694	△ 694
3. 長期前受金戻入	1,266,514	1,266,514	1,277,570	11,056	11,056
4. 雑収益	140,688	140,688	149,480	8,792	8,792
3. 特別利益	408,001	408,001	409,977	1,976	1,976
1. 水道事業費用	19,623,623	18,909,126	18,319,473	△ 1,304,150	△ 589,653
1. 営業費用	17,310,606	16,596,109	16,022,838	△ 1,287,768	△ 573,271
1. 職員給与費	2,167,066	2,167,066	2,152,685	△ 14,381	△ 14,381
2. 浄化費	787,418	787,418	630,158	△ 157,260	△ 157,260
3. 動力費	3,007,804	2,299,804	2,197,581	△ 810,223	△ 102,223
4. 施設管理費	1,324,422	1,324,422	1,247,819	△ 76,603	△ 76,603
5. 受託工事費	6,497	0	0	△ 6,497	0
6. 物件費	97,395	97,395	87,023	△ 10,372	△ 10,372
7. 諸費	705,711	705,711	634,033	△ 71,678	△ 71,678
8. 水源管理負担金	380,437	380,437	353,121	△ 27,316	△ 27,316
9. 減価償却費	8,744,376	8,744,376	8,627,756	△ 116,620	△ 116,620
10. 資産減耗費	89,480	89,480	92,662	3,182	3,182
2. 営業外費用	1,492,013	1,492,013	1,480,635	△ 11,378	△ 11,378
1. 企業債利息	1,360,148	1,360,148	1,350,973	△ 9,175	△ 9,175
2. 割賦負担金利息	123,980	123,980	123,980	0	0
3. 借入金利息	1	1	0	△ 1	△ 1
4. 雑支出	7,884	7,884	5,682	△ 2,202	△ 2,202
3. 特別損失	816,004	816,004	816,000	△ 4	△ 4
4. 予備費	5,000	5,000	0	△ 5,000	△ 5,000
当年度純利益又は 当年度純損失(△)	32,051	740,051	1,350,000	1,317,949	609,949

前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 16,334,060	△ 15,498,027	△ 15,498,027	836,033	0
当年度純利益 又は純損失(△)	32,051	740,051	1,350,000	1,317,949	609,949
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)	△ 16,302,009	△ 14,757,976	△ 14,148,027	2,153,982	609,949

資本的收入及び支出（税込み）

（単位 千円）

年度 収支区分	H28				
	財政計画 ①	予算額 (前年度繰越+補 正・流用含む) ②	決算額 ③	決算-財計 ③-①	決算-予算 ③-②
1. 資本的收入	1,938,179	1,937,867	1,235,086	△ 703,093	△ 702,781
1. 企業債	908,000	903,000	200,000	△ 708,000	△ 703,000
2. 出資金	1,030,175	1,030,175	1,030,175	0	0
3. 国庫補助金	1	4,689	4,689	4,688	0
4. 固定資産売却代金	1	1	222	221	221
5. 工事負担金	1	1	0	△ 1	△ 1
6. 基金収入	0	0	0	0	0
7. その他資本収入	1	1	0	△ 1	△ 1
1. 資本的支出	11,533,747	13,667,065	11,712,168	178,421	△ 1,954,897
1. 建設改良費	3,957,709	6,091,027	4,136,140	178,431	△ 1,954,887
2. 水利負担金	681,025	681,025	681,025	0	0
3. 投資	0	0	0	0	0
4. 企業債償還金	5,711,012	5,711,012	5,711,003	△ 9	△ 9
5. 国庫補助金返還金	1	1	0	△ 1	△ 1
6. 出資金返還金	1,184,000	1,184,000	1,184,000	0	0
資本的収支不足額(△)	△ 9,595,568	△ 11,729,198	△ 10,477,082	△ 881,514	1,252,116
補てん財源	9,595,568	11,729,198	10,477,082	881,514	△ 1,252,116
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	312,759	312,759	304,785	△ 7,974	△ 7,974
当年度純利益	32,051	740,051	1,350,000	1,317,949	609,949
損益勘定留保資金等	9,250,758	10,676,388	8,822,297	△ 428,461	△ 1,854,091
前年度末資金残額	4,905,759	7,982,763	7,982,763	3,077,004	0
当年度資金過不足(△)額	△ 1,720,035	△ 3,145,665	△ 1,410,856	309,179	1,734,809
当年度末資金残額	3,185,724	4,837,098	6,571,907	3,386,183	1,734,809

V. 対前年度決算比較

収益的收入及び支出（税抜き）

（単位 千円）

収支区分	年度	H28		
		前年度決算額 ①	決算額 ②	当年度－前年度 ②－①
1. 水道事業収益		21,041,752	19,669,473	△ 1,372,279
1. 営業収益		17,937,289	17,764,952	△ 172,337
1. 分賦金		17,906,089	17,757,160	△ 148,929
2. 受託工事収益		21,626	0	△ 21,626
3. その他営業収益		9,574	7,792	△ 1,782
2. 営業外収益		1,485,335	1,494,544	9,209
1. 受取利息		6,149	2,673	△ 3,476
2. 補助金		80,118	64,821	△ 15,297
3. 長期前受金戻入		1,250,658	1,277,570	26,912
4. 雑収益		148,410	149,480	1,070
3. 特別利益		1,619,128	409,977	△ 1,209,151
1. 水道事業費用		18,584,399	18,319,473	△ 264,926
1. 営業費用		16,509,417	16,022,838	△ 486,579
1. 職員給与費		2,086,824	2,152,685	65,861
2. 浄化費		670,095	630,158	△ 39,937
3. 動力費		2,543,762	2,197,581	△ 346,181
4. 施設管理費		998,060	1,247,819	249,759
5. 受託工事費		21,626	0	△ 21,626
6. 物件費		84,528	87,023	2,495
7. 諸費		650,869	634,033	△ 16,836
8. 水源管理負担金		369,703	353,121	△ 16,582
9. 減価償却費		8,860,622	8,627,756	△ 232,866
10. 資産減耗費		223,328	92,662	△ 130,666
2. 営業外費用		2,074,982	1,480,635	△ 594,347
1. 企業債利息		1,482,698	1,350,973	△ 131,725
2. 割賦負担金利息		571,733	123,980	△ 447,753
3. 借入金利息		0	0	0
4. 雑支出		20,551	5,682	△ 14,869
3. 特別損失		0	816,000	816,000
4. 予備費		0	0	0
当年度純利益又は 当年度純損失(△)		2,457,353	1,350,000	△ 1,107,353
前年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)		△ 17,955,380	△ 15,498,027	2,457,353
当年度純利益 又は純損失(△)		2,457,353	1,350,000	△ 1,107,353
当年度末利益剰余金 又は繰越欠損金(△)		△ 15,498,027	△ 14,148,027	1,350,000

資本的收入及び支出（税込み）

（単位 千円）

収支区分	年度	H28		
		前年度決算額	決算額	当年度－前年度
		①	②	②－①
1. 資本的收入		1,326,684	1,235,086	△ 91,598
1. 企業債		224,000	200,000	△ 24,000
2. 出資金		1,102,414	1,030,175	△ 72,239
3. 国庫補助金		0	4,689	4,689
4. 固定資産売却代金		270	222	△ 48
5. 工事負担金		0	0	0
6. 基金収入		0	0	0
7. その他資本収入		0	0	0
1. 資本的支出		10,322,026	11,712,168	1,390,142
1. 建設改良費		3,620,921	4,136,140	515,219
2. 水利負担金		689,887	681,025	△ 8,862
3. 投資		0	0	0
4. 企業債償還金		6,003,277	5,711,003	△ 292,274
5. 国庫補助金返還金		7,941	0	△ 7,941
6. 出資金返還金		0	1,184,000	1,184,000
資本的収支不足額(△)		△ 8,995,342	△ 10,477,082	△ 1,481,740
補てん財源		8,995,342	10,477,082	1,481,740
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額		244,298	304,785	60,487
当年度純利益		2,457,353	1,350,000	△ 1,107,353
損益勘定留保資金等		6,293,691	8,822,297	2,528,606
前年度末資金残額		8,964,081	7,982,763	△ 981,318
当年度資金過不足(△)額		△ 981,318	△ 1,410,856	△ 429,538
当年度末資金残額		7,982,763	6,571,907	△ 1,410,856

VI. 貸借対照表

(平成29年 3月31日)

(単位 円)

資 産 の 部

1. 固 定 資 産

(1) 有形固定資産

イ. 土地		7,939,674,148	
ロ. 建物	17,681,510,389		
減価償却累計額	<u>△ 8,117,820,516</u>	9,563,689,873	
ハ. 構築物	167,351,200,635		
減価償却累計額	<u>△ 70,343,937,678</u>	97,007,262,957	
ニ. 機械及び装置	90,192,083,428		
減価償却累計額	<u>△ 75,685,122,508</u>	14,506,960,920	
ホ. 車両運搬具	44,477,701		
減価償却累計額	<u>△ 27,025,277</u>	17,452,424	
ヘ. 器具備品	964,461,146		
減価償却累計額	<u>△ 664,969,261</u>	299,491,885	
ト. 建設仮勘定		<u>5,902,130,412</u>	
有形固定資産合計			135,236,662,619

(2) 無形固定資産

イ. 水利権		23,123,971,782	
ロ. 施設利用権		22,533,830	
ハ. 電話加入権		1,082,281	
ニ. ソフトウェア		<u>2,726,220</u>	
無形固定資産合計			23,150,314,113

(3) 投資その他の資産

イ. 出資金		<u>69,856,000</u>	
投資その他の資産合計			<u>69,856,000</u>

固定資産合計

158,456,832,732

2. 流 動 資 産

(1) 現金預金		12,001,158,786	
(2) 未収金		16,636,753	
(3) 貯蔵品		<u>103,577,419</u>	

流動資産合計

12,121,372,958

資 産 合 計

170,578,205,690

負 債 の 部

3. 固定負債			
(1) 企業債			
イ. 建設改良費等の財源に充てるための企業債	51,041,047,329		
企業債合計		51,041,047,329	
(2) 引当金			
イ. 退職給付引当金	2,759,629,282		
引当金合計		2,759,629,282	
固定負債合計			53,800,676,611
4. 流動負債			
(1) 企業債			
イ. 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,441,007,284		
企業債合計		5,441,007,284	
(2) 未払金		5,227,937,369	
(3) 前受金		1,080,572	
(4) 引当金			
イ. 賞与引当金	142,576,624		
ロ. 法定福利費引当金	25,755,495		
引当金合計		168,332,119	
(5) 預り金		48,537,752	
流動負債合計			10,886,895,096
5. 繰延収益			
(1) 長期前受金		59,521,261,680	
収益化累計額		△ 31,741,879,973	
繰延収益合計			27,779,381,707
負債合計			<u>92,466,953,414</u>

資 本 の 部

6. 資本金			89,776,041,238
7. 剰余金			
(1) 資本剰余金			
イ. 補助金	2,033,213,481		
ロ. 受贈財産評価額	42,720		
ハ. 工事負担金	218,496,818		
ニ. その他資本剰余金	231,484,548		
資本剰余金合計		2,483,237,567	
(2) 利益剰余金			
イ. 当年度未処理欠損金	△ 14,148,026,529		
利益剰余金合計		△ 14,148,026,529	
剰余金合計			△ 11,664,788,962
資本合計			<u>78,111,252,276</u>
負債資本合計			<u>170,578,205,690</u>